様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	鳥取県理容美容専門学校
設置者名	学校法人鳥取県理容美容専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門	理容	夜・通信	60単位	6単位	
	美容	夜・通信	60単位	6単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校事務室にて閲覧公開

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鳥取県理容美容専門学校
設置者名	学校法人鳥取県理容美容専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校事務室にて閲覧公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理容組合代表	3年 (2018～2020)	業界代表として 様々な提言
非常勤	美容組合代表	3年 (2018～2020)	業界代表として 様々な提言
非常勤	理容店経営者	3年 (2018～2020)	理容分野に関する 授業内容、技術指導 への様々な提言
非常勤	理容店経営者	3年 (2018～2020)	理容分野に関する 授業内容、技術指導 への様々な提言
非常勤	美容店経営者	3年 (2018～2020)	美容分野に関する 授業内容、技術指導 への様々な提言
非常勤	美容店経営者	3年 (2018～2020)	美容分野に関する 授業内容、技術指導 への様々な提言
非常勤	美容店経営者	3年 (2018～2020)	美容分野に関する 授業内容、技術指導 への様々な提言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鳥取県理容美容専門学校
設置者名	学校法人鳥取県理容美容専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年度当初、各授業担当者に教育課程表・年間行事予定表等を配布し、年間授業計画作成を連絡 ○4月、授業開始(最初の授業)にて年間授業計画を生徒へ公表 外部へは学校事務室で閲覧公開する ○最終的な到達目標は理容師・美容師国家試験の合格であるため、各单元ともに国家試験出題範囲と内容において6割から8割の得点を目標とする ○理容科、美容科ともに同様の扱いとする 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>各授業担当者によって各授業の最初に生徒へ公表 外部へは学校事務室で閲覧公開</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学則に成績・考査及び進級、卒業の認定に関する規定を記載 ※厚生労働省告示「理容師(美容師)養成施設の教科課程の基準」並びに厚生労働省通知「理容師(美容師)養成施設の教科課程の基準の運用について」に準拠 ○各学期において定期考査を実施し、成績及び出席状況を把握し、学年末において進級、卒業の認定を行う ○理容科、美容科ともに同様の扱いとする 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学期における定期考査を実施、年間を通じた平均60点以上を合格と認定 ○成績評価の指標は、理容師・美容師国家試験の出題範囲と内容において6割から8割の得点を到達目標とした定期考査の得点を指標とし、さらに受講態度等を加味して100点満点で評価する。 ○履修の認定は「理容師（美容師）養成施設の教科課程の基準の運用について」に準拠し、教科課目ごとに欠席時間数が5分の1以内とする ○成績分布については、学生数が少人数であるため一覧表にて把握 ○理容科、美容科ともに同様の扱いとする 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>各授業担当が生徒へ公表 学校事務室で閲覧公開</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本校学則に明記 厚生労働省告示「理容師（美容師）養成施設の教科課程の基準」並びに厚生労働省学則に明記 各学年で学習する全ての教科課目の履修、修得を認定された者は進級並びに卒業を認定する ○理容科、美容科ともに同様の扱いとする 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学則に明記 学校事務室で閲覧公開</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	鳥取県理容美容専門学校
設置者名	学校法人鳥取県理容美容専門学校

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務室にて閲覧公開
収支計算書又は損益計算書	学校事務室にて閲覧公開
財産目録	学校事務室にて閲覧公開
事業報告書	学校事務室にて閲覧公開
監事による監査報告（書）	学校事務室にて閲覧公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門	理容	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2010/67 単位時間/単位	570/19 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,440/48 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010単位時間/67単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		2人	人	2人	11人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 「理容師養成施設指定規則」並びに「理容師養成施設の教科課程の基準」に準拠する教育課程を編成。実習を伴う教科科目と講義による教科科目を設置。
成績評価の基準・方法
（概要） 各学期に定期考査を実施し、年度末に評価点が100点満点で60点以上の教科科目の修得を認める。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年で学習する全ての教科科目の履修、修得を認定された者は進級並びに卒業を認める。
学修支援等
（概要） 欠席時間数が5分の1を超えた場合、欠席時間数が3分の1以内の者が所定の手続きをした場合、補習授業を認める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	1人 (50%)	1人 (50%)
(主な就職、業界等) 理容業並びに関連する業種			
(就職指導内容) 理容業並びに関連する業種・職種への就職指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理容師国家資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門	美容	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2010/67 単位時間/単位	570/19 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,440/48 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010単位時間/67単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		32人	0人	2人	13人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 「美容師養成施設指定規則」並びに「美容師養成施設の教科課程の基準」に準拠する教育課程を編成。実習を伴う教科科目と講義による教科科目を設置。

成績評価の基準・方法
(概要) 各学期に定期考査を実施し、年度末に評価点が100点満点で60点以上の教科課目の修得を認める。
卒業・進級の認定基準
(概要) 各学年で学習する全ての教科課目の履修、修得を認定された者は進級並びに卒業を認める。
学修支援等
(概要) 欠席時間数が5分の1を超えた場合、欠席時間数が3分の1以内の者が所定の手続きをした場合、補習授業を認める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	20人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容業並びに関連する業種			
(就職指導内容) 美容業並びに関連する業種・職種への就職指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	2人	5.6%
(中途退学の主な理由) 他分野への進路変更 専門分野への理解が不十分なまま入学したことによる進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門分野の授業内容、卒業後の進路状況について入学前の学校案内で徹底する		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	120,000円	360,000円	520,000円	施設整備費、実習費、実習教材費等
美容科	120,000円	360,000円	520,000円	施設整備費、実習費、実習教材費等
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス： www.toribi.ac.jp 掲載		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会を2019年度中に設置 2020年3月中旬(国家試験終了後)に委員会を開催し、以下の項目に関する評価と提言を受け、次年度の学校運営に生かす。 ・教育課程編成に関する評価と提言 ・教員の授業力評価と研修に対する提言 ・生徒募集と生徒指導に対する評価と提言 ・学校の施設・設備、その他教育環境に対する評価と提言 ・その他学校運営全般に対する評価と提言		
学校関係者評価の委員 ・委員の構成は以下のとおりとする 理容・美容業界の関係者、保護者代表、高校教育経験者とし4名程度、任期2年 学校側は理事長、校長とする ・2020年度から評価を確実に実施するため2019年度中に委員の選任を行う		
所属	任期	種別
美容店経営者	2年(2019～2020)	業界代表者
美容店経営者	2年(2019～2020)	業界代表者
理容店経営者	2年(2019～2020)	保護者
元県立高校校長	2年(2019～2020)	教育関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス： www.toribi.ac.jp 2020年3月中旬に委員会を開催し、4月以降には確実に評価を公表する		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

ホームページアドレス：www.toribi.ac.jpから資料請求ページへアクセス
又は電話で資料請求可能